

A・ヒアチェ編「シュムペーターのヴィジョン『資本主義・社会寿気・民主主義』の現代的評価」  
ホルト・サウンゲース・ジャパン、1983年8月10日刊を読む

シュムペーターの資本主義・社会主義および民主主義 ポール・A・サミュエルソン

科学的推論は、ニワトリ——タマゴ——ニワトリ……という形で続けられる。われわれは、事前の帰納的観察から理論仮説をたて、運よくなしえた事後の観察に基づいて、あるいはわれわれの暫定的な仮説が事後の観察はとくに興味深いものとなることを示唆しているがゆえに何としても行う事後の観察に基づいて、われわれの仮説を検証したり、修正したりする。アインシュタインはすでに過去の観察から、水星の遠日点(太陽から最も遠ざかる点)の変則性について知っていたし、彼の相対性理論を組み立てていた。……そしてシュムペーターは、大恐慌によって資本主義的民主主義はヒトラー主義やスターリン主義の猛攻に抗しがたくなったとして、すでに1942年に、1929年以後の資本主義的みんしゅが衰退していったことを観察していた。

[コメント]

ニワトリが先かタマゴが先か。景気を回復するためにと財政破綻の中で財源を議論せずに支出し続ければどうなるか。シュムペーター先生とサミュエルソン先生が学び直したい。

- 2010年4月3日 林明夫記 -